



倉敷の糸（いとへん）に触れる

倉敷を支え続ける「繊維」産業、その倉敷の糸（いとへん）に触れるイベントとして毎年開催しております「itohen（いとへん）」（以下、イトヘン）も今年で3回目となりました。

このイベントの前身として、以前は、3月から「DENIM ON LIFE」が始まり、4月中旬から「倉敷繊維考房」となり、6月は「倉敷いぐさ祭り」と、三つの異なる企画で春のイベントを開催してきたのですが、い草をメインに販売している方々がだんだんと少なくなり、「いぐさ祭り」の開催が危ぶまれてきました。

そんな中、昔はい草の町としてにぎわっていた倉敷西阿知にある出店者さんから春のイベントを合同にできないかと相談があり、思い切って三つのイベントを一つにした合同展として、この「イトヘン」が生まれました。

この「イトヘン」というタイトルについて、少しお話ししたいと思います。

「いとへん」とは、アパレルや繊維品など繊維や織物関係を扱う業界のこと。漢字では、糸へんに考えると書く。いわゆる造語となります。



倉敷には、い草、学生服、ジーンズ、帆布といった、多種多様な繊維産業が広がっています。また、このイベントの会場であるアイビー学館は、江戸幕府の代官所時代には明倫館という庶民のための教育機関が置かれていた場所で、倉敷紡績となってからは混打綿（こんだめん）という綿をブレンドする工程があった建物でした。



▲会場のアイビー学館

そうした「繊維」と「学び」に深い関りのあるこの場所から、暮らしや人々の人生を豊かにする繊維の未来の在り方を発信したいとの思いで名付けました。

さて、この「イトヘン」には、23社のアパレルメーカーやオリジナルブランドが集結しております。デニム、い草、帆布、畳縁、真田紐（さなだひも）といった倉敷ならではの繊維グッズが数多く並んでおり、しかも、その全てがメイドインジャパンとなっております。

国内の方だけではなく、国外の方にも非常に喜んでいただき、あらためて地元倉敷の繊維のすばらしさをアピールする場になつていて感じいております。毎週土曜日の朝ともなると、欧米からのツアー客ご一行様がオープンと同時に来場され、1時間ほどでその日の売り上げの

3分の1をあげてくれます。（笑）そんな「イトヘン」では、今年の期間限定ではありますが、ワークショップや記念撮影会などを開催し、春の倉敷アイビースクエアを盛り上げてくれます。

クラブウグールの皆さまはこと繊維にかけては関りが深いのではないかと思います。ぜひ、クラブウグールの地で、今一度繊維に触れてみてはいかがでしょうか。

スタッフ一同お待ちいたしております。

（カルチャー事業部

中久保 陵次 記）



▲倉敷ならではの繊維グッズが一度に楽しめます

itohen

開催期間

3月13日(金)～
6月21日(日)

ご利用時間

9時30分～16時30分

会場

アイビー学館 (入場無料)

装飾家
能勢聖紅さん
いけばな作品



クリスマスツリーの装飾もしていただいた
装飾家 能勢聖紅さんによるLIVE装花



Betty
Smith
ビッグ
ジーンズ



Betty Smithワークショップ (トートバッグ作り)



ベティちゃん
来場

館内をお散歩して
くれました

Betty
ちゃん



10人の気持ちが 100人の笑顔に。

清掃活動参加者10人ごとに

L∞PLUSタオルハンカチを100枚寄贈

2026年4月の

清掃活動参加者は

累計

51人

10-100プロジェクト

10-100プロジェクト実行委員会
(人事部・総務部・食飲訪検労働組合)

寄贈枚数は

500枚と
なりました!

引き続きご協力
お願いします!